

# 木材ジャーナル名古屋・せぶ

平成28年7月号 No.110

名古屋木材組合  
名古屋港木材産業協同組合

## 平成27年版 森林・林業白書

森林と林業に関する動向と施策をまとめた「平成27年度 森林・林業白書」が、平成28年5月17日に閣議決定され、平成27年度の森林及び林業の動向と平成28年度に講じようとする施策について公表された。

「平成27年度森林・林業白書」は、この一年間における森林・林業の動向や主要施策の取組状況を中心に国民の関心と理解が深まることをねらいとして作成されており、トピックスと下記の6つの項目で構成されており、今回はトピックスの概要を紹介します。

第Ⅰ章 国産材の安定供給体制の構築に向けて

第Ⅱ章 森林の整備・保全

第Ⅲ章 林業と山村

第Ⅳ章 木材産業と木材利用

第Ⅴ章 国有林野の管理経営

第Ⅵ章 東日本大震災からの復興

### トピックス

#### 1. 木材自給率が30%台まで回復

- 平成26年の木材自給率は31.2%となり、26年ぶりに30%台に回復。
- 平成14年には、木材自給率は18.8%と最も低い数字となったが、近年、人工林の森林資源の充実、合板原料としての国産材利用の増加等を背景に、国内生産量が増加傾向。これに伴い木材自給率も上昇傾向。
- 木質バイオマス発電施設における木材利用量が増加。木質バイオマスのエネルギー利用は、地球温暖化防止や山村地域の経済の活性化にも寄与。

#### 2. 東京オリンピック・パラリンピック競技大会における木材利用

- 平成32年に「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催。関連施設に木材を利用することで、木の文化の伝統を保つ日本の技術力を実感する機会の提供や木材利用への理解の醸成が期待。
- 国、東京都、組織委員会で構成する「木材利用に関するワーキングチーム」を通じ、施設等への木材利用の促進に取り組み。
- 主要施設となる新国立競技場は、平成27年8月に整備計画が決定。スギ・カラマツといった木材と鉄のハイブリッド屋根構造を採用し、内装等においてCLT(直交集成板)を活用する見込み。

#### 3. ミラノ国際博覧会で木材利用の魅力を発信

- 平成27年に「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに「2015年ミラノ国際博覧会」が開催。日本館には、木材のめり込み作用を解析、応用し、国産カラマツ集成材を使用した外壁を設置。また、日本館の貴賓室の内装には、国産スギのツキ板を使用。
- 林産物輸出を促進していく上で、わが国の伝統や木材の魅力を世界に発信していく必要。ミラノ国際博覧会は、こうした取り組みを進める上で、大変貴重な機会。

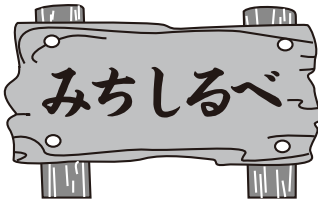
#### 4. COP21で採択された「パリ協定」において森林の重要性を認識

- 平成27年にパリで開催されたCOP21において、2020年以降の国際的な温暖化対策の法的枠組みである「パリ協定」が採択。この協定は、全ての締約国が参加する枠組み。
- パリ協定において、各締約国は森林を含む温室効果ガスの吸収源・貯蔵庫の働きを適切に保全・強化するべきこと等が記載。
- COP21に先立ち、我が国は約束草案を提出。この中で、2030年度の削減目標を2013年比26%減とし、このうち森林吸収源対策で2.0%相当の吸収量確保を目標。

#### 5. 国有林の保護林制度が創設から100年

- 大正4年に国有林の保護林制度が創設され、平成27年で100年。生物多様性の核となる貴重な国有林を「保護林」に設定し、厳格に保護・管理。
- 保護林は、世界自然遺産やユネスコエコパークの保護担保措置。林業と自然保護が共存した森林経営のモデルの提示やゾーニングの考え方の国民への定着に貢献等の成果。
- 学術的な知見の蓄積等を踏まえ、平成27年9月に保護林制度を改正。区分を再編し「復元」等の新たな考え方を導入するとともに、簡素で効率的な体制を構築。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



## オバマの苦悩

名古屋港木材産業協同組合  
理事長 嶺 木 昌 行

オバマ政治はプラハで始まり、ヒロシマで終わった。彼は核兵器廃絶を訴えノーベル平和賞を貰ったが、米国民世論が核の優位を捨てきれないため、核軍縮は進まなかった。世界で唯一核を使用した国としてオバマが米国の核を率先して減らすことが出来たら、世界の核軍縮はもっと進んでいたことも考えられる。今回のヒロシマ訪問は、オバマにとって今の米国民から許される唯一最大の核軍縮と言うことが出来よう。核廃絶という彼の生涯のテーマと、世界の実態との間に大きな隔たりがあることをオバマは認め、苦悩していた。

私は長崎のヒバクシャ谷口稜嘩さんと数回お会いしたが、彼には過去に対する謝罪を求める気持ちは感じられず、被爆というご自身の過去を、アメリカのみならず人類の過ちとして捉え、核廃絶、平和への祈りを訴えておられた。クリスチャンでも仏教徒でもない谷口さんの、まさに「長崎の祈り」である。

昨年33万人の外国人が広島を訪れているとのこと。過去に比べて10倍に増えているらしいが、それは外国の青年たちが核兵器やヒロシマを71年前の過去の歴史と捉えるのではなく、自分たちの未来を滅ぼすかもしれない恐ろしい、持ってはならない兵器と捉え始めているからではないだろうか。核兵器は自分たちを守る手段という、これまでの通念への疑問である。

今回のオバマ訪問が世界の大きなうねりになり、33万人が330万人に増え、核保有国の軍縮運動のきっかけとなってもらいたいと思うのは決して私一人ではないはずだ。しかし、核兵器はなくなることはないと思わざるを得ない。オバマほどの道徳心の高い大統領がこの70年も続く平和の時代においてすら成し得なかった核軍縮を、この先どんな指導者によって成し遂げられると期待するのだろうか。

原子力という無限大のエネルギーを手に入れた人類は、いわばパンドラの箱を開けたことになる。人類はそのエネルギーの破壊力に怯える一方で、それを手放すことができない矛盾と絶望とを子々孫々受け継いでいかなければならない。オバマの苦悩は我々人類の苦悩であり、子々孫々の未来永劫に続く苦悩であると言わざるを得ない。

## ◆ 自遊ご異見番 ◆

### 「最後?の原稿」

平成14年に広報委員に任命され、13年間木材ジャーナルの編集に携わらせて頂きましたが、今回委員を交代する事となりました。長い間拙い文章にお付き合い頂きましてありがとうございました。後任は私より文才のある者（確認はしておりませんが）です。宜しくお願い致します。

先日、広報委員を辞めるにあたって、自分の書いた原稿を読み返してみました。最初の自遊ご異見番は、平成14年に日本と韓国で開催されたワールドカップについて書かせて頂きました。次の原稿からは、半田市で行われている春祭りの山車や、地元の神社で行われている年末年始などの地元の行事について書いており、それ以降はスポーツを主に野球（イチロー選手の活躍やワールドベースボールクラシック等）に関する事を中心に書いていました。こうして全部読み返してみると、私の自遊ご異見番は、ほとんどの原稿がスポーツか地元の行事について書いており、自分で書いておきながら、他の広報委員さんのように、もう少し違うテーマで原稿が書けなかったのかと、少し後悔しながら読んでいました。この原稿が、私の広報委員としての最後の原稿となります。文章を書くことが苦手な私にとって、もう原稿を書かなくても良いという安堵感と、少しの寂しさがあります。

最後に、長い間一緒に活動して頂きました、広報委員の皆様と事務局の皆様、そして木材ジャーナルを読んで頂いている皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

名古屋 元広報委員：魚住寿次（材惣木材㈱）

## 木場すずめ

### 『親子ふれあい木工教室』



去る6月19日、飛鳥村中央公民館美術工作室にて「飛鳥村親子ふれあい木工教室」が行われ、飛鳥村の小学生親子12組が参加。名古屋港木材産業協同組合広報委員の材惣木材(株)成瀬氏、服部産業(株)秦野氏、江口木材(株)田野島氏、(資)稲生製材稲生、そして事務局の西村氏の5名が講師を務めました。

3年目の今年は、天板を金具とビスで簡単に脱着でき、足はコンパクトにたためるようにした、簡易で取り扱いの容易な丸テーブルを作りました。

感想を述べますと、制作意欲盛んな親子が多数見受けられた事に驚きました。

例年子供より親が頑張りすぎるので、長くて固いビスを親用に沢山用意しましたが、講師の間でこれはしんどいのではないかと意見が出たため、念のため2組に1台のインパクトドライバーを持ち寄り対策としました。しかし最後まで電動工具に頼らず手回しでやり遂げようとしている親子も見受けられました。時間の都合上、先ずはお母さん優先でインパクトドライバーを使ってもらいましたが、お父さんと息子が交代しながら一生懸命ビスを回している姿はキットを作った者としてとても嬉しく、感動しました。

反省点は、時間を30分程超過してしまった事と、子供の集中力を持続させられなかった事です。子供用に簡単な小さいビス止め箇所も設けましたが、時間の経過と共に歩き回って遊ぶ子供が出てしまったので、来年はもっと勘考したいです。子供には木の刀とかおもちゃの方が、人気があるのかもしれない。

今年はできるだけ講師が手伝わずに、親子で完成させて、達成感を高めようとその旨を最初に案内しましたので、最後まで頑張って完成させる親子がいたことも嬉しかったです。

1テーブルに父子と母子の組にしたのは半正解で、お父さんが同じテーブルの母子を手伝う微笑ましい光景もありました。

(次ページにつづく)



(つづき)

今年は19組の応募の中から12組抽選され、1年飛びや2年連続、それに3年連続参加できた幸運な家族もいて、徐々に顔見知りになってきたこの飛鳥村親子ふれあい木工教室、名古屋木材青壮年会で10年以上続けている木の日のイベントの木工教室等で、木の持つやさしさや、温かさをアピールすることができる最高の機会になっています。



実際木材を扱うわれわれも良材ばかりに目が行きがちですが、捨てられるような端材でも使いようでは十分喜ばれる製品は作れるし、むしろ一般の方には個性的で魅力的に映るようです。

木は耐用年数も長く、古くなって傷んできてもそれはそれで味になる事を知り、「木製品を愛し長く使う事」で新たな需要を次世代へ紹介する事に皆で挑戦していきましょう。

せぶ 広報委員：稲生富裕（資稲生製材）

## お知らせ

いよいよ暑い季節となつてまいりました。会員の皆様には、熱中症、水難事故等に十分注意されて、無事、盛夏を乗り切れるよう願っております。

熱中症には、早めの対策と水難事故には、お互いに監視する目を持ち危険ヶ所には立ち入らぬよう注意しましょう。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

### 事務所等を狙った侵入盗被害が多発!!

本年に入り、蟹江警察署管内において、深夜に会社事務所や閉店後の店舗を狙った侵入盗被害が多発しています！

#### 防犯上の注意点

- ・防犯カメラ、センサーライトの設置等、目に見える防犯対策をしましょう！
- ・無人でも室内灯を点灯させる等して、犯人に留守を悟られないようにしましょう！

## ◆ 広告コーナー

**KOMATSU**

ランニング  
コストが  
ディーゼル車に比べ  
約**1/5!**

CO<sub>2</sub>  
排出量が  
ディーゼル車に比べ  
約**1/3!**

パワーが  
必要な作業も  
お任せ!

アウトドア対応  
バッテリーフォークリフト

ELECTRIC FORKLIFT TRUCK

# FE25-1

コマツリフト株式会社 中部カンパニー本社 TEL.052-659-2201



港湾運送事業・倉庫業・通関業

## 111 中部木材倉庫株式会社

代表取締役社長 成田 誠



本社 〒455-0036 名古屋市港区浜2-3-1  
TEL: 052-661-8181 FAX: 052-661-8188

西部木材港 〒490-1447 海部郡飛鳥村西浜29  
事務所 TEL: 0567-55-1551 FAX: 0567-55-2086

URL <http://www.chumokuso.co.jp/>

発行 名古屋木材組合  
 発行者 西垣洋一  
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10  
 TEL <052> 331-9386  
 FAX <052> 322-3376  
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合  
 発行者 嶺木昌行  
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74  
 TEL <0567> 57-2017  
 FAX <0567> 57-2018  
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会